



## 子供ファーストの西原小教育

校長 手代木 英明

始業式・入学式に合わせるように満開となった校庭の桜、新1年生85名を迎え、全校児童545名（18学級）で平成29年度西原小学校の教育活動が始まりました。新1年生の保護者の皆様、お子さんの小学校ご入学おめでとうございます。そして、進級した児童の保護者の皆様、進級おめでとうございます。

今年度は、タブレットパソコンを全児童に持たせた教育活動を9月にスタートさせます。そして、来年度の「開校90周年記念事業」に向けた取り組みが始まります。10月には、平成32年度に全面実施される「新学習指導要領」の理科・生活科の内容を先取りした研究の発表会を行います。また、恒例の行事としては、運動会を5月に、展覧会を1月に実施します。これらの大行事とすべての教育活動は、「児童が輝き」「保護者・地域に信頼される学校」を目指して、「子供ファースト」の理念で全教職員が、一丸となって取り組んでいきます。子供の成長のためには学校・保護者・地域の連携が大切です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

これまで3年間の取り組みと、今年度の重点について説明します。

### 26年度 話を一度で聞き取る子供を育てる。

まず、「子供たちに“いい耳”をもたせる。」という目標で、指導を徹底しました。学習は、話をしっかり聞き取れることが前提です。

### 27年度 自分のことが話せる子供を育てる。

次に、「自分のことがはっきり言える子供を育てる。」ということを重視しました。優しい心や優れた考えをもっていても、言葉に表さなければなかなか相手に伝わりません。

### 28年度 自分の意見や考えが書ける子供を育てる。

自分の考えや気持ちを文章に書き表せる子供を育ててきました。全校でノートの書き方を統一したり、作文帳を使ったりして、学年に応じた長さの文章を書いてきました。

### 29年度 主体的・対話的で深い学びができる子供を育てる。

○言語活動の充実（グループでの話し合いの充実とノート指導）

○学びに向かう力を育てる授業（興味・関心が高まる教材と学びが実感できる授業）

○学んだことを関連付ける西原カリキュラム（いろいろな教科の内容を関連付けた授業）

今年度は、教育目標の重点を昨年度までの「思いやりのある子ども」から「実行する子ども」にします。授業で身に付けた知識や技能を活用できる子、係や当番活動、委員会活動などに積極的に取り組む子を育てていきます。

私は、故郷会津の子育ての考え方が、集団行動を中心とした学校教育に当てはまると考えています。「あいづっこ宣言」の五は、6年生がリードする西原小学校で特に大切にしていることです。

6年生は卒業生を超える目標を立てています。そして、進級した子供たちが下級生のお手本になれるように、自覚をもたせて教育活動を進めていきます。ご家庭でも頑張っている子供たちを励ましてあげてください。

